



ICTニュース～滅菌物の安全性～

2018年
6月号

患者さんに使用前のチェックしていますか？

滅菌不完全器具で手術 病院、対象患者78人に謝罪

静岡県立総合病院（静岡市葵区）で5月下旬、滅菌処理が不完全な状態の手術器具が患者に使用されていたことが13日、病院への取材で分かった。滅菌処理装置の電源の入れ忘れと使用前の確認不徹底による人為ミスで、病院は対象となる患者78人に謝罪した。感染症の有無を調べるため、患者の血液検査を行っているが、健康被害は確認されていない。

インジゲーター？ どうやって確認？

サプライに滅菌依頼したものは、「137℃以上の高温で処理」されるものと「低温で処理」されるものと2種類の滅菌工程を経過します。

「滅菌工程」がされてはじめて、「安全な材料、器材」として患者さんに提供できます。

工程がトラブルなく経過したか、確認するためのものが「インジゲーター」です。



黄色→黒に変色

高温滅菌器



紫→緑に変色

低温滅菌器

あわせて
滅菌期限
外装の破損
の確認も
お願いします

「滅菌されているだろう」の考えは危険！
みんなの目でチェックしよう